



日本銀行金融研究所
Institute for Monetary and Economic Studies,
Bank of Japan

金研ニュースレター

2017年9月

金融研究所 (Institute for Monetary and Economic Studies, IMES) は、1982年10月に日本銀行創立100周年を記念して、日本銀行の内部組織の1つとして設立されました。金融研究所は、金融経済の理論、制度、歴史に関する研究を行っているほか、金融経済に関する歴史的資料の収集・保存・公開を行っています。

ハイライト

貨幣博物館 企画展

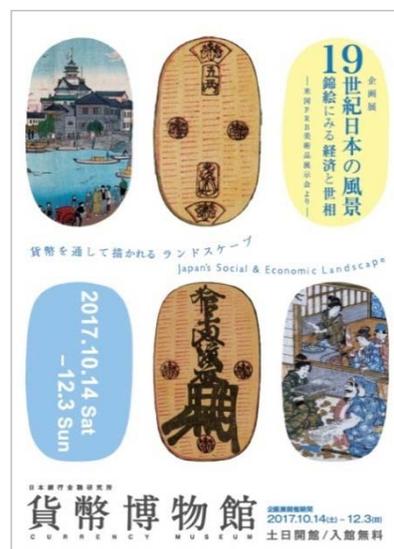
- ✓ 開催趣旨
- ✓ 展示構成
- ✓ 展示資料紹介

「金研ニュースレター」は、日本銀行金融研究所が主催するイベントなどを、幅広い読者を対象に、タイムリーにお知らせすることを通じて、金融研究所の活動を紹介することを目的としています。

貨幣博物館 企画展

19世紀日本の風景：錦絵にみる経済と世相

日本銀行金融研究所貨幣博物館では、今般、一昨年秋のリニューアル後初の企画展として「19世紀日本の風景：錦絵にみる経済と世相 - 米国 FRB 美術品展示会より -」を開催することとしました (会期 2017年10月14日<土>～12月3日<日>)。



企画展フライヤー (表)



企画展フライヤー (裏)

今回の企画展は、2014年秋に米国FRB (連邦準備制度理事会) 本館内で開催された展示会に出展した日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵資料46点の全作品を、日本でもご覧頂べく開催するものです。

FRB は本館内で美術品の展示会を随時開催していますが、2014 年の“Japan’s Social & Economic Landscape: Nineteenth-Century Woodblock Prints from the Currency Museum, Bank of Japan”と題する展示会は、アジアの中央銀行として初めて日本銀行との共催により開催されたものでした。

FRB への出展は日本銀行と FRB の密接な関係を象徴するもので、更なる関係強化に資するものでもありました。同年 10 月の IMF・世銀年次総会に合わせて FRB 本館で開催されたレセプションでは日本銀行黒田東彦総裁、FRB ジャネット・イエレン議長などによる挨拶も行われました。



レセプションで挨拶する
日本銀行黒田東彦総裁
2014 年 FRB 本館



米国 FRB 美術品展示会の様子

貨幣博物館は 1985 年に開館しましたが、海外に所蔵品を出展したのはこの時が初めてです。また、貨幣博物館内でも、46 点もの錦絵を一同に展示するのはリニューアル前を含め今回が初めてのことです。

貨幣博物館所蔵資料の中核である銭幣館コレクションには、貨幣経済に関係する事象が描かれた錦絵約 1,500 点が含まれています。

錦絵のコレクションは国内外に数多くありますが、貨幣経済に関するこれほどの規模のコレクションは、社会経済史的、民俗学的な価値が非常に高いものです。

FRB 本館内での美術品展示会開催にあたっては、FRB の学芸員に当館所蔵の錦絵の画像を提示し、FRB 側がどのような作品を展示したいと考えているか、意見交換を重ねました。それを踏まえ両者で展示構成を検討し、選定した資料が今回の 46 点です。



守川周重「品定開化花」1879 年 Part 1 より

今回の展示では、大きく 3 つのパート、Part 1.幕末開港から日本銀行設立へ ―貨幣・社会経済史―、Part 2.錦絵にみる江戸時代の風俗、Part 3.幸福・富を願う ―福神絵―、に分けてご紹介します。

「Part 1.幕末開港から日本銀行設立へ 一貨幣・社会経済史一」では江戸時代から幕末開港、明治維新を経て日本銀行が設立される頃までの貨幣・経済に関する錦絵 20 点余を紹介します。開港以降の貨幣・経済の混乱や新しい制度・文化は風刺画の題材となりました。

「品定開化花」は日本の伝統的な品物と開港後に新しく導入された品物を持っている人々を歌舞伎役者に見立てて描いています。



「品定開化花」部分拡大

政府紙幣を片手に「銀貨」の隣の「さつ」が「銀でもきんでもおどろかねへ せかいごぞってさつの通用」と、全国通用の紙幣が流通するようになったことを記している。



三代歌川豊国「東海道五十三次の内 藤川駅 佐々木藤三郎」
1852年 Part 2 より

「役者見立東海道五十三駅」シリーズは、五十三次の地名にちなんだ歌舞伎の登場人物が、当時の歌舞伎役者の似顔で描かれ、「藤川駅 佐々木藤三郎」では寛永通宝をモチーフとした着物姿の二代目尾上多見蔵(1800～86年)が描かれています。



三代歌川豊国「吾嬬下五十三駅 大井川」1854年 Part 2 より
幕末に上演された歌舞伎の一場面で大井川の途中で、大井川の前で馬士胴八(右)が財布を拾おうとしている。

「Part 3.幸福・富を願う ―福神絵―」では幸福をもたらすとして信仰されてきた福神を描いた錦絵 8 点を紹介します。富や繁栄を願う福神絵には、富の象徴としてしばしば小判や千両箱と一緒に描かれました。

「四海波 福の神あそび」では、大黒天・恵比寿が漁をする網に大量の小判がかかる様子とおめでたい歌が詠まれています。



松浦守義「福神蚕の糸取」
19 世紀後半 Part 3 より

「福神蚕の糸取」では、養蚕の様子が大黒天と共に描かれ、床には小判が散らばっています。当時、蚕卵紙は重要な輸出品で、養蚕が富をもたらすことを示すため、帳簿を前にした福神が小判と共に描かれたものと考えられます。

今回展示する錦絵は、貨幣博物館所蔵資料の中から厳選されたものです。貨幣博物館 30 年の歴史の上で、初めて海を渡った錦絵の魅力を、実物を見ながら実感していただければ幸いです。



池田英泉「四海波 福の神あそび」
19 世紀前半 Part 3 より

金研ニュースレター 2017 年 9 月

※本誌に関する照会は、日本銀行金融研究所までお寄せください。

無断での転載・複製はご遠慮ください。

日本銀行金融研究所 (IMES)

〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町 2-1-1

TEL: 03-3279-1111 (大代表)

FAX: 03-3510-1265

E-mail: imesjournals-info@boj.or.jp

ホームページ: <http://www.imes.boj.or.jp/index.html>

※日本銀行金融研究所による最近の研究成果物については、以下をご覧ください。

日本銀行金融研究所による最近の研究成果物

金融研究所ディスカッション・ペーパー・シリーズ

- No. 2017-E-6** “The Transactions Demand for Paper and Digital Currencies” by Koichiro Kamada, July 2017
- No. 2017-J-11** 風戸正行、山田哲也、「CoCo 債市場から観測される金融機関のベイルイン確率」、2017年7月
- No. 2017-E-5** “Japanese and U.S. Inflation Dynamics in the 21st Century” by Jeff Fuhrer, June 2017
- No. 2017-E-4** “Monetary Policy According to HANK” by Greg Kaplan, Benjamin Moll, Giovanni L. Violante, June 2017
- No. 2017-J-10** 樋口亮介、「アメリカ連邦法における銀行財産の不正使用の罪について」、2017年5月
- No. 2017-E-3** “Guiding the Economy Toward the Target Inflation Rate: An Evolutionary Game Theory Approach” by Yasushi Asako and Tatsushi Okuda, May 2017
- No. 2017-J-9** 「情報セキュリティ・シンポジウム(第18回)の様式:新たな金融サービスを支える高機能暗号」、2017年5月
- No. 2017-J-8** 清藤武暢、青野良範、四方順司、「公開鍵暗号型の高機能暗号を巡る研究動向」、2017年4月
- No. 2017-J-7** 芦原聡介、清藤武暢、「共通鍵暗号型の検索可能暗号の処理性能について」、2017年3月
- No. 2017-E-2** “Banking Crises and the Japanese Legal Framework” by Ignacio Tirado, March 2017
- No. 2017-J-6** 沖野健一、「分散台帳技術のセキュリティ要件:銀行口座振替処理への適用」、2017年3月
- No. 2017-E-1** “Term Structure Models with Negative Interest Rates” by Yoichi Ueno, March 2017
- No. 2017-J-5** 太田和夫、「共通鍵暗号による秘匿検索暗号のセキュリティ」、2017年3月

金融研究 第36巻第3号 (2017年7月発行)

- 井手英策、「福田財政の研究:財政赤字累増メカニズムの形成と大蔵省・日本銀行の政策判断」
- 大井博之、上野陽一、「景気変動が実質賃金に与える影響:インフレ率水準との関係」
- 中村啓佑、「金融分野の TPPs と API のオープン化:セキュリティ上の留意点」
- 荒木尚志、「労働法の実効性と紛争解決システムの機能:集団的合意による法定基準の柔軟化とアメリカにおける雇用仲裁の機能の比較法的検討」